

「高千穂郷」通信

九州中央自動車道

高千穂雲海橋道路 中心杭打ち式



高千穂雲海橋道路 ~ 本格的な測量に着手 ~

九州中央自動車道高千穂雲海橋道路の本格的な測量に向けて、中心杭打ち式が1月15日（土）、高千穂町自然休養村管理センターで行われました。式典では、本県選出国會議員、河野知事、沿線自治体の首長らとともに、みやざき犬「むっちゃん」が中心杭を打ちました。

この道路は、将来「九州中央自動車道」の一部となる自動車専用道路で、防災機能の強化や緊急医療活動の支援、東九州自動車道と一体となった広域観光ルートを活用など、県北地域の発展に大きく寄与するものとして期待が寄せられています。



子牛の初競りが開催されました！

1月21日（金）から22日（土）までの2日間、JA高千穂地区家畜市場において、子牛の初競りが開催されました。

セリ市では、雌219頭、去勢289頭の合わせて508頭が上場され、平均70万円（税込）を超える価格で取引されました。

また、今回は高千穂生まれの新しい種雄牛「神照栄（かみてるさかえ）」の子牛が上場され、購買者の注目を集めていました。

新型コロナウイルス感染症防止のため、鏡開き等のセレモニーは見送られましたが、丹精込めて育てられた元気な子牛が一堂に集まった初競りに、会場全体が活気づいていました。



子牛の初競りの様子



購買者による子牛の下見の様子

学校と地域の連携・協働による世界農業遺産を活用した人材育成



12月18日（土）、みやざきの未来を紡ぐ生涯学習をテーマとした「第6回宮崎県生涯学習実践研究交流会」が県教育研修センター（宮崎市）にて開催されました。

実践発表の部においては、NPO法人グローバルアカデミー（高千穂町）の茨木いずみさん、高千穂高等学校3年の池吉虎雅さん、一水優奈さんが、地域の農家に現地取材を行って学んだ内容をまとめた「高千穂郷食べる通信」や、世界農業遺産について小中学生に伝える「出前授業」の紹介がされました。取組内容は参加者から好評をいただくとともに、ともに学び、つながり、周りの優れたところを吸収し合うよい機会となりました。



世界農業遺産とは



世界農業遺産（GIAHS:ジアス）とは、食料の安定確保を目指す国際組織「国際連合食糧農業機関（FAO）」によって開始されたプロジェクトです。世界農業遺産の目的は、失われつつある土地の環境を活かした伝統的な農業・農法、生物多様性が守られた土地利用、農村文化・農村景観などを「地域システム」として一体的に維持保全し、次世代へ継承していくことです。

販売解禁！西臼杵支庁長へ完熟きんかんが贈呈されました

1月13日（木）に販売解禁を迎えた完熟きんかん「たまたま」をPRするため、高千穂地区果樹振興会きんかん部会の皆様から西臼杵支庁長に「たまたまエクセレント※」が贈呈されました。

同部会では、高千穂町、日之影町の22戸が3.9haできんかんを栽培しており、例年1月中旬から3月まで収穫されます。高い糖度や紅色の外観など県内でもトップクラスの品質を誇り、本年産も「たまたまエクセレント」の割合が県平均を上回るなど高品質のきんかんを出荷されています。

部会長の工藤慎一郎さん（写真左から2番目）からは、「今年も着色、食味ともに優れた完熟きんかんができた。たくさんの人に食べていただきたい」とのお話がありました。



※たまたまエクセレント…糖度18度以上、直径32mm以上の基準をクリアし、かつ形状外観が良好な完熟きんかん

農業経営の発展に向けて 研修会を開催！

西臼杵農業改良普及センターでは、農業経営の発展に必要な知識や技術の習得等を目的に、年間計画に基づいた「体系的農家研修」を企画・開催しており、12月は、規模拡大に欠かせない「労務管理」と栽培の基礎である「土づくり」をテーマに、新規就農者や若手農家等が研さんを深めました。今後とも、西臼杵地域の農業発展に向け、多彩な研修を企画してまいります。

労務管理

12月1日（水）、社会保険労務士のOFFICE COA（宮崎市）大崎渙司所長から「農業における労務管理の基礎知識」、また、(株)宮崎茶房（五ヶ瀬町）の宮崎亮代表から同社の「経営と雇用状況」をテーマに、講話をいただきました。



宮崎亮氏による講話

土壌研修

12月9日（木）から10日（金）までの2日間、環境土壌クリニック（日南市）の神原哲士代表から、「土の健康診断」と「土づくり」をテーマに、講義と現場での指導をいただきました。高千穂町のミニトマトハウスでは、約2mの穴を掘り、土壌の断面調査を方法等を学んだところです。



土壌の断面調査

冬期の運転に注意を!



1月11日(火)、高千穂神社で新年交通安全祈願祭が行われ、今年一年の交通安全を願いました。

安全運転をする上で、交通ルールを遵守することはもちろんですが、西臼杵の冬期は積雪や路面凍結にも注意が必要です。管内を走行される際は、スタッドレスタイヤの装着やチェーンの携行に加え、事前に宮崎県道路規制情報(音声サービス:0985-35-3202)で道路状況をご確認くださいと安心です。

普段よりも注意を払った運転を心がけ交通事故のない安心・安全な西臼杵を目指しましょう!



道路規制情報を
スマホでチェック!



Facebookページ「ウキウキ!好き好き!ニニウスキキ!」
西臼杵観光推進連絡協議会 公式Instagram 更新中!

高千穂高校 からのお知らせ

熊大生との交流 ～熊大高千穂塾～



12月2日(木)に高千穂高校と熊本大学による教育プロジェクト「熊大高千穂塾」があり、同大学の学生や留学生ら24名が参加し、交流しました。これは、高校生が高千穂の観光地などを大学生らに紹介することで、新たな視点を身につけ、高千穂の素晴らしさを再発見することを目的としている高大接続の一環です。

高千穂峡を英語で案内するフィールドワークでは、GIAHS地域が誇るランドスケープの素晴らしさを伝えるために、高校生が奮闘する姿が見られました。また、志を持って熊本で学ぶ大学生や留学生の姿に、本来の目的に加えて進路に対する意識も大いに高まったようでした。

進むICT活用 ～高千穂高校T-LABO活用事例～

1月12日(水)に福島県環境創造センター交流棟(愛称:コミュタン福島)と高千穂高校をオンラインで結び、アバターロボット(ICTを活用し物理的距離や身体的限界をゼロにする遠隔操作ロボット)を活用した体験ツアーを行いました。高校生が操作するコミュタン福島のアバターロボットを介して、様々な原発事故展示物などを見学しました。



また、1月14日(金)には香港中文大学の学生に高千穂の魅力オンラインで体験してもらいました。高校生は、観光スポットである天岩戸神社や高千穂峡について工夫を凝らして紹介し、画面越しでも迫力が伝わるように高千穂神楽の舞を力強く披露しました。



高千穂高等学校 (TEL:0982-72-3111)

発行/宮崎県西臼杵支庁 編集/総務課
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



「高千穂郷」通信

